

立ちどまらない保険。

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

家財への備えは十分ですか？

家財も大きな財産です

ふだん何気なく購入している家財。
見直してみると大きな財産であることに気づきます。



ご存じでしたか?

家の中には、意外と多くの家財があるものです。

タンスから歯ブラシまで、みんな家財です。家財には、家具類、衣類、寝具類、家電製品をはじめ、歯ブラシや茶わんに至るまで、さまざまなものがあります。これらをすべて足し合わせると、意外と高額であることがわかります。

ご家族みんなの家財

総額 **¥5,631,000**

家族共有の家財にはこのようなものがあります。

モデルとなる世帯例



■ 家族構成：父48才、母45才、長女18才、長男12才
■ 居宅の面積：115m² ■ 世帯主の職業：会社員

家具、インテリア、雑貨等

¥1,414,000

食器棚、サイドボード、ソファ、ドレッサー、カーテン、洋服ダンス、和ダンス、ダイニングセット、スリッパ、カーペット等

趣味・娯楽用品

¥600,000

電子ピアノ、家庭用大工道具一式等

書籍、CD、DVD類

¥618,000

書籍、CD、DVD、アルバム、パソコンソフト、ゲームソフト等

Household Effects

家財の総額

[再調達価額]

17,005,000 円

<モデルケースの場合>

台所用品、冷蔵庫、調理器具等

¥672,000

冷蔵庫、電子レンジ、トースター、炊飯ジャー、電気ポット、コーヒーメーカー、ガステーブル、鍋、包丁等



家電製品

¥1,947,000

テレビ、DVDレコーダー、ビデオカメラ、オーディオステレオ、ミニコンポ、洗濯機、掃除機、布団乾燥機、エアコン^(注)、ファンヒーター、ホットカーペット、パソコン、電話機、ゲーム機等



衣類、バッグ、身の回り品、寝具類

¥380,000

旅行用カバン、スーツケース、タオル類、バス用品、客用寝具類等

(注)建物と家財の所有者が同一である場合、建物に取り付けられたエアコンは「家財」ではなく「建物」として取り扱います。ただし賃貸住宅の入居者等、建物の所有者でない方がエアコンを所有している場合は「家財」として取り扱います。

しかも、家財は 思った以上に増えています。

ふだん何気なく購入している家財。家族の成長や生活環境の変化に伴い徐々に増えているため、その多さにあまり気づきませんが、一度に買い揃えるとなると、かなりの高額となります。

ご家族一人ひとりの家財

総額 **¥11,374,000**

父(48才)の家財

総額

¥3,630,000



母(45才)の家財

総額

¥5,224,000



デジタル・電子機器	¥34,000
携帯用オーディオプレイヤー、電気かみそり	
趣味・娯楽用品	¥500,000
ゴルフ用品、つり道具、その他スポーツ用品	
寝具類	¥120,000
シーツ、敷き布団、掛け布団、枕	
書籍、CD、DVD類	¥106,000
書籍、CD、DVD、アルバム	
衣類	¥1,370,000
スーツ、礼服、コート、和服、カジュアルファッション、下着類	
バッグ、身の回り品	¥1,500,000
革靴、スニーカー、腕時計、バッグ、財布	

長女(18才)の家財

総額

¥1,527,000



長男(12才)の家財

総額

¥993,000



家具、雑貨等	¥349,000
ベッド、整理ダンス、自転車、学習机、雛人形	
デジタル・電子機器	¥74,000
携帯用オーディオプレイヤー、デジタルカメラ	
趣味・娯楽用品	¥100,000
テニス用品	
寝具類	¥98,000
シーツ、敷き布団、掛け布団、枕	
書籍、CD、DVD類	¥122,000
書籍、CD、アルバム、ゲームソフト	
衣類	¥553,000
スーツ、おしゃれ着、コート、晴れ着、カジュアルファッション、下着類	
バッグ、身の回り品	¥231,000
靴、腕時計、バッグ、財布、化粧品	

家具、雑貨等	¥259,000
ベッド、整理ダンス、自転車、学習机、五月人形	
デジタル・電子機器	¥59,000
テレビゲーム	
趣味・娯楽用品	¥50,000
野球用品	
寝具類	¥98,000
シーツ、敷き布団、掛け布団、枕	
書籍、CD、DVD類	¥49,000
書籍、CD、アルバム、ゲームソフト	
衣類	¥284,000
ブレザー、コート、洋服、下着類	
バッグ、身の回り品	¥194,000
スニーカー、腕時計、バッグ、財布	

お客様のご家庭に照らしてみましょう。

モデルケース		独身の方	ご夫婦の方	ご家族の方
家財の再調達価額		男性：30才	夫：30才 妻：28才	夫：35才 妻：36才 長男：6才
■ 家具、インテリア、雑貨等	200,000円	759,000円	1,362,000円	
■ 台所用品、冷蔵庫、調理器具等	111,000円	606,000円	772,000円	
■ 家電製品	483,000円	896,000円	1,273,000円	
■ 趣味・娯楽用品	208,000円	452,000円	967,000円	
■ 寝具類	106,000円	475,000円	556,000円	
■ 書籍、CD、DVD類	300,000円	454,000円	509,000円	
■ 衣類	648,000円	1,924,000円	2,701,000円	
■ バッグ、身の回り品	517,000円	1,354,000円	2,196,000円	
■ 合計	2,573,000円	6,920,000円	10,336,000円	

標準世帯における家財評価額(再調達価額)の目安 (2020年9月時点)

※1個または1組の価額が30万円を超える貴金属・宝石、美術品等は含まれておりません。

世帯主の年齢	夫婦のみ	夫婦+子ども(18才未満)1人	夫婦+子ども(18才未満)2人
27才以下	550万円	640万円	730万円
28才～32才	710万円	800万円	890万円
33才～37才	990万円	1,080万円	1,170万円
38才～42才	1,220万円	1,310万円	1,400万円
43才～47才	1,400万円	1,490万円	1,580万円
48才以上	1,480万円	1,610万円 ^(注1)	1,700万円 ^(注2)

(注1)夫婦以外に、18才以上の方が1人の場合 (注2)夫婦以外に、18才以上の方が1人と18才未満の子どもが1人の場合

※上の表は再調達価額の目安となります。上の表にない家族構成の場合は、代理店・扱者または当社までお問い合わせください。

家財の評価基準

このパンフレットは、「再調達価額」を基準に作成しています。

再調達価額

損害が発生した時の発生した場所における保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再築または再取得するのに必要な金額をいいます。

※このパンフレットに記載の再調達価額の例は、2020年9月時点のものです。

※動物および植物など、家財の保険の対象に含まれないものがあります。詳細は商品パンフレットまたは「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」等をご覧ください。

※家財の保険は、自宅敷地内に収容されるものを対象としますが、GKすまいの保険(すまいの火災保険)には、敷地外に持ち出した家財を補償する特約(自宅外家財特約)もあります。自宅外家財特約では、このパンフレットに記載の家財のうち対象とならないものもあります。

三井住友海上火災保険株式会社

MS&AD INSURANCE GROUP

● ご相談・お申込先

<https://www.kazai-hoken.jp>
取扱代理店 株式会社保険企画